

会 議 録

| | | | |
|--------------------|---|---------------------------|----|
| 会議名 (審議会等名) | 相模原市立大野南公民館運営協議会 | | |
| 事務局 (担当課) | 生涯学習部 大野南公民館 電話042-749-2121 | | |
| 開催日時 | 令和6年3月15日(金) 19時00分～20時30分 | | |
| 開催場所 | 大野南公民館 2階 大会議室2 | | |
| 出席者 | 委員 | 17人(別紙のとおり) | |
| | その他 | 0人 | |
| | 事務局 | 4人(杉野館長代理、青山主事、竹林主事、伊藤主事) | |
| 公開の可否 | <input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可 | 傍聴者数 | 0人 |
| 公開不可・一部不可の場合は、その理由 | | | |
| 議 題 | (1) 12～3月の事業結果報告について (2) 令和5年度事業評価のまとめについて (3) 令和5年度運営協議会決算(案)について (4) 令和6年度公民館事業計画(案)について (5) 令和6年度運営協議会予算(案)について (6) その他 ○ 令和5年度公民館表彰者について(報告) ○ 利用者団体登録状況について(報告) | | |

協 議 の 要 旨

(○は委員の発言、■は議長の発言、●は事務局の発言)

(1) 12～3月の事業結果報告について

事業の写真のスライド投影し、各委員、事務局から報告を行った。

○文化家庭委員会主催事業について

1月13日に「安全安心の暮らし講座（終活）」を開催。参加者11名。

暮らしの中の葬儀、墓じまいなどの法律や、お金の問題などについて、勉強会を行った。また、市の広報にも載っていたが、家の問題。元気なうちに考えておく必要がある。参加者はそれぞれの問題についても相談でき、ためになったとの感想があがった。

●青少年委員会主催事業について

12月16、17日にスノードーム作りを開催。当初、12月16日に30名の定員で募集したが140名の応募があり、急遽2日間の開催とし70名を当選とした。4小学校の子どもたちは、初めて会う子も交流しながら工作を行った。また、工作が早めに終わったので、子どもたちが考えたゲームを行い、みんなで楽しく交流できたのもよかった。

2月4日にこども料理教室②を開催。参加者23名。

ホットケーキを作り、上手に出来ない子がいて先生が心配していたが、最後はホイップクリームをかけてデコレーションし、子どもたちはそれをおいしそうに食べていた。感想にもまたお菓子作りがしたいという意見も多かった。

●成人学級について（全9回（10/24～12/19）学級生16名）

公民館が地域づくりの拠点である役割として地域課題、社会課題について、考えあい、自己を振り返り、今後の行動に活かすことを目的に行う公民館の事業でも重要な学級であり、大野南は市内でも硬派な学級と言われている。今回は「豊かな人間関係を求めて」をテーマに行った。孤立孤独支援法が4月から施行されるが、色々な立場の人がそういった問題に直面していることを考える学級を準備委員9名で企画した。5回目の「LGBTQ+を学ぼう」ではバリアフリーの講座として、話した言葉を文字化し映し出すUDトークを準備した。9回の講座を重ね学級生同士で食事に行くほどの親睦が深まり、来年も成人学級で様々な課題について学習したいという意見が出た。

●子育てを楽しむ講座について（全5回（9/9～12/9）受講生 19名）

土曜日に開催したことで、父親の参加が多かった。昨年、実行委員の仕事の都合で土曜日の午後だったが、今年度は土曜日の午前中に行った。受講者の内訳は母親13名、父親6名。講座を重ねていく中でみんな仲良くなっていき、5回目の写真の撮り方講座では、お互いの子どもたちのよい表情を撮ることができた。子どもたちも「公民館に遊びに行く」ことを楽しみになるような仲間づくりができた。

●ぴよぴよパパを楽しむ講座について（全2回（2／17・24）受講生11人）

父子参加型講座として、子育てを楽しむ講座に参加したり、お手伝いなどで関わった父親に声掛けをしたところやってみたくと話が盛り上がり、12月から4回の準備委員会を経て当日を迎えた。父親対象の講座に集まってくれるか心配したが、父親たちが自ら課題を考えあつたので、需要にフィットしたのではないか。子育てを楽しむ講座でもっと親同士で話し合いをしたかった結果を受けて、この講座ではたくさん話げできた。子育てを通して、自分がどう生きていきたいか、人生を考えるよいきっかけになった。

●小学校入学前児童の保護者向け講座について（参加者6名）

運営協議会委員でもある鶴の台小学校長の水野先生、おださが小児アレルギー科の富川先生、林間のぞみ幼稚園藤本先生、中村館長を招いて、小学校入学の時期の悩みを相談する講座を開いた。参加者全員がそれぞれの悩みを話し、小学校側、お医者さん、幼稚園側それぞれの立場や子どもの状況や親の関わり方の助言をした。

○大野南サタデーキッズルームについて

実行委員会と公民館の共催事業。読み聞かせ、人形劇、音楽、紙芝居など、幼児向けの子育て事業。12月23日は、人形劇ロロ、絵本であそぼでのクリスマス会で、参加者大人20名、子ども19名。1月27日は、布おもちゃサークルピノキオで、参加者大人14名、子ども16名。2月24日は、みらい子育てネットさがみはらで、オカリナ演奏と歌で大人21名、子ども16名の参加があつた。9月の運営協議会で、参加者が以前より減っていることにご心配をいただいたが、このところ回復傾向にある。しかし、コロナ前よりも参加者が多く、特にクリスマス会や布おもちゃは人気だったので、完全回復とはなっていない。

●大野南公民館まつりについて（3／2・3）

テーマは「楽しくひろがる地域の和」。今年は5年ぶりに音楽のつどいを南市民ホールで行つた。また、芸能のつどいに参加する実行委員の方で、大会議室2の入り口の段差解消の修繕と、舞台のステップの制作を申し出てくださった方があり、おかげで安全に芸能のつどいが行えた。大会議室2で行つた芸能のつどいは、客席も近く臨場感あふれた和気あいあいとした舞台発表となった。各部屋では、ひよこ第3保育園、谷口台小5年3組、青少年委員会、サイエンスキッズラボ、真向法体操など活動展示、発表を行つた。また、永年公民館活動に尽力された方の表彰式を5年ぶりに行い、4人の方に感謝状を贈呈した。

■音楽のつどいについてですが、去年は、音楽のつどいも大会議室2で行つたが、南市民ホールの閉鎖が令和8年3月までに延長になったので、それならばホールで演奏したいという意見が各サークルから多く寄せられた。今回は15団体の参加だったが、3年におよぶコロナの影響、高齢化で以前の20団体から減ってしまった。それは、芸能のつどいも同じで参加者が減ってしまった。問題はあるものの、みんな楽しく演奏や出演ができたことは成果があつた。

（質問なし）

(2) 令和5年度事業評価のまとめについて

- 運営協議会委員から評価委員を選出し、各事業を評価していただいた。各委員会、実行委員会では、その評価に対しての反省や、今後の事業の進め方などを考える材料にしていきたい。特に新しい事業について、評価委員の長池委員に説明いただきたい。
- 子どもまつりについて。大野南は子どもまつりがなかったが、去年はプレ的に行い、今年は本格的な事業となった。多くの公民館は青少年委員が指導的立場となり子どもまつり実行委員会に関わって企画をするが、今年度の大野南は大学生が指導的立場となり、子ども実行委員が企画を行った珍しいケース。運営面を厳しめに評価したのは、この公民館の施設の構造的な弱点を大学生はわからないので、青少年委員のフォローが必要だったのではと感じた。地域社会への貢献という部分は大学生が関わり、広い意味での貢献があったと考えた。青少年委員の関わりが見えづらかったので、スキルを上げていく必要がある。
- 子育てを楽しむ講座について。昨年度、土曜日に開催したことにより父親の参加者があり、新しい講座となる期待があった。講座の実行委員をお母さんだけでなくお父さんも一緒に担っているところは珍しい。そこからお父さんだけの講座が立ち上がると聞いて準備委員会と、当日の講座を見学した。今回の子育てを楽しむ講座から、ぴよぴよパパの講座へと繋がっていったのが素晴らしい。これまで、公民館は女性のテイストでの子育て講座が主だったが、男性のテイストでこれまでとは違った講座の作り方はとても興味深い。
- 新規事業として7月1日と8日に行った文化家庭委員会主催の父子参加型講座、パパママニコニコ子育て講座の評価は竹内委員にご担当いただき、父親も育児の楽しさを感じてもらい、コミュニケーションの大切さを感じる講座だったと評価いただいた。参加者から父親同士のコミュニケーションの場もあったらよとの意見もあり、次年度の講座企画に活かしていきたい。
- 小学校入学前児童の保護者向け講座に関わったが、(事務局の)青山さんから、小学校入学にあたりいろいろと不安をかかえている保護者が多いので講座をやりたいと、講師を頼まれた。入学までに子どもに何をできるようにしておくかを保護者が心配されていると思うが、入学すれば学校にはいろいろなサポートもあるので安心して送り出して欲しい、ドキドキをワクワクに。ということを伝えられたらと思った。一人ではちょっと不安だったので、富川先生と藤本先生、中村館長に協力してもらい、講座が開催された。参加者は少なかったが、みなさん満足して帰られたとのことでよかったと思っている。

(3) 令和5年度運営協議会決算(案)について

- 令和5年度収支決算書に添って説明。決算が見込みのため会計監査が未執行により、その結果は次年度に改めて報告する。

(質問なし)

- 令和5年度運営協議会決算について、承認でよいか。

—— 全出席委員承認 ——

(4) 令和6年度公民館事業計画(案)について

●各委員会等で事業計画を提案。学級、講座は、住民の準備委員と何を目指し、どのような目的かを話し合いながら内容、日程を決めていくので順次お示ししたい。健康体育委員会事業は、5年度に引き続き、大野南体育祭、健康ウォーク等計画した。また、公民館振興計画策定委員会については、毎月第2土曜日に開催するので運営協議会委員のみなさまにはぜひご参加いただきたい。

■令和6年度年間事業計画について、承認でよいか。

—— 全出席委員承認 ——

(5) 令和6年度運営協議会予算(案)について

●令和6年度収支予算に添って説明。公民館振興計画策定委員会での講師謝礼等の予算として、6年度も研修費の予算を計上。

■令和6年度運営協議会予算について、承認でよいか。

—— 全出席委員承認 ——

(6) その他

●①令和5年度公民館表彰者について

例年公民館まつりの場を借りて感謝状授与式を行っていたが、コロナで中断しており5年ぶりに授与式を行った。大野南公民館表彰規約に基づき表彰選考委員会を立ち上げ、同じく規約第2条第2項に該当する、退職時に継続して5年以上在任された方13名について表彰者として選考した。授与式には4名の方がご出席くださり、和やかな式典が開催された。

●②利用者団体登録状況について

令和5年12月8日から令和6年3月14日の間、公民館施設予約システムの登録状況について報告。新規登録した団体が5団体、廃止届を提出した団体、使用料免除が対象外となった団体は無し。現在の登録数は447団体。

(質問なし)

■その他、質疑等なければ、議事を終了とする。

以 上

大野南公民館運営協議会出欠席名簿

令和6年3月15日開催

| | 氏名 | 所属等 | 備考 | 出欠席 |
|----|-------|---------------------|------|-----|
| 1 | 中村洋子 | 大野南公民館長 | 会長 | 出席 |
| 2 | 大木真理 | 谷口台小学校長 | | 出席 |
| 3 | 水野正人 | 鶴の台小学校長 | | 出席 |
| 4 | 宮坂賀則 | 大野南中学校長 | | 出席 |
| 5 | 瀬戸量平 | 相模上原団地自治会長 | 会計監査 | 出席 |
| 6 | 中島千尋 | 豊町自治会長 | 副議長 | 出席 |
| 7 | 廣川宇宥見 | 相模大野自治会長 | | 出席 |
| 8 | 古谷田作子 | 大野南地区民生委員児童委員協議会副会長 | | 欠席 |
| 9 | 富松和美 | 谷口台小学校PTA会長 | | 出席 |
| 10 | 山崎みどり | 鶴の台小学校PTA会長 | | 出席 |
| 11 | 金子清美 | 大野南中学校PTA会長 | | 出席 |
| 12 | 大野幸治 | 大野南地区子ども会育成連絡協議会代表 | | 欠席 |
| 13 | 関口潔 | 大野南地区老人クラブ連合会副会長 | | 出席 |
| 14 | 長池慶子 | 文化家庭委員会代表 | 会計 | 出席 |
| 15 | 伊藤明 | 健康体育委員会代表 | | 出席 |
| 16 | 登坂和範 | 青少年委員会代表 | | 欠席 |
| 17 | 荒井朋子 | 保育委員会代表 | | 出席 |
| 18 | 阿部義宏 | 公民館利用者懇談会代表 | | 出席 |
| 19 | 江成仁乃 | 公民館利用者懇談会代表 | | 欠席 |
| 20 | 阿久津明也 | 公民館利用者懇談会代表 | 議長 | 出席 |
| 21 | 島田欣一 | 公募委員 | | 出席 |
| 22 | 竹内祥子 | 公募委員 | | 欠席 |